

CCSテクニカルワークショップ

大規模CO₂地中貯留技術の実用化に向けて

日程 平成30年1月23日 (火)

10:00~17:15 (9:15受付開始)

定員 350名

(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

言語 日本語、英語

同時通訳有り

参加費 無料

ワークショップ終了後、意見交換会を実施します。
(会費制3,000円)

会場 イイノホール(4F)

〒100-0011東京都千代田区内幸町2-1-1

飯野ビルディング4F

<https://www.iino.co.jp/hall/access/>

- ・東京メトロ日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅C4出口直結
- ・東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」駅B2出口徒歩5分
- ・東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅9番出口徒歩3分
- ・JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅徒歩10分
- ・都営地下鉄三田線「内幸町」駅A7出口徒歩3分



主催 二酸化炭素地中貯留技術研究組合

共催 経済産業省

お申込み・お問合せ

■申込方法

下記の参加申込み記載事項を記入の上、ccsws@rite.or.jp までお申し込みください。

参加申込み記載事項

- | | | |
|-------------|-------------|--------------------------|
| ①お名前 (漢字) : | ④会社名 (かな) : | ⑦お電話番号 : |
| ②お名前 (かな) : | ⑤部署名 : | ⑧Emailアドレス : |
| ③会社名 (漢字) : | ⑥役職名 : | ⑨意見交換会 (参加・不参加) : |
| | | ⑩今後の関連イベント案内の送付 (可・不可) : |

※当日はご面倒ですが、申込み控え (E-mailの申込みプリント) をご持参ください。
※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、イベント案内のために利用させていただくことがあります。
※定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
※意見交換会会費については、当日徴収させていただきます。

■お申込み・お問合せ先

CCSワークショップ2017事務局

E-mail: ccsws@rite.or.jp TEL: 06-6372-3053

北米の地下深部塩水性帯水層への地中貯留プロジェクトは、2015年のカナダ・2017年の米国と相次ぎ、大規模プロジェクトが稼働しており、日本においても2016年から年間10万トンレベルのCO₂を帯水層に圧入する苫小牧実証プロジェクトが開始されました。各プロジェクトから得られる最新の知見は、将来のCCSの実用化や普及を加速することに繋がるものと期待されます。

本ワークショップでは、CCS分野で世界をリードする米国のCCS政策の現状やCCSプロジェクトの成果などについてご講演いただくとともに、米国Decatur、ノルウェーSmeaheiaといった実施中、あるいは今後実施予定の実プロジェクトから専門家をお招きし、大規模CO₂地中貯留技術の実用化に向けて、リスクマネジメントの観点も含めた最新の知見・手法についてご講演いただきます。

また、「二酸化炭素地中貯留技術研究組合」におきましても、年間100万トンレベルの実用化規模の貯留技術の開発、CCSの安全性を高める技術開発、CCS実用化のための条件整備等の研究開発を進めておりますので、これら研究開発の最新状況についてご紹介いたします。

プログラム

モデレーター

東京大学大学院工学研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター
センター長・教授 佐藤 光三

(敬称略)

	プログラム	演題	講演者名
9:15-	受付		
10:00-10:05	開会挨拶		二酸化炭素地中貯留 技術研究組合 理事長 山地 憲治
10:05-10:10	共催者挨拶		経済産業省 地球環境連携室長 松村 亘
10:10-10:15	趣旨説明		東京大学大学院 教授 佐藤 光三
10:15-11:15	講演1	米国イリノイ州のDecaturサイトの 大規模貯留層評価の事例紹介	Illinois State Geological Survey Scott Frailey (米国)
11:15-12:15	講演2	NRAPプロジェクトの概要と長期的CO ₂ 貯留の リスクアセスメントのためのNRAP ツールセット開発	Los Alamos National Laboratory (LANL) Rajesh Pawar (米国)
12:15-13:30	昼食休憩 & ポスターセッション		
13:30-14:30	講演3	光ファイバーセンシングによるCO ₂ 挙動 モニタリング技術開発	Lawrence Berkeley National Laboratory (LBNL) Barry Freifeld (米国)
14:30-15:30	講演4	我が国のCO ₂ 地中貯留技術実用化 研究開発の取り組みについて	二酸化炭素地中貯留 技術研究組合 技術部長 薛 自求
15:30-16:00	コーヒーブレイク & ポスターセッション		
16:00-17:00	講演5	フルスケールプロジェクトにおける Smeaheiaサイトのフィージビリティ スタディの事例紹介	Gassnova SF Kari-Lise Rorvik (ノルウェー)
17:00-17:10	総括		東京大学大学院 教授 佐藤 光三
17:10-17:15	閉会挨拶		二酸化炭素地中貯留 技術研究組合 理事 矢野 雄策